

専門分野Ⅱ 老年看護学 授業計画

授業科目及び時間数	老年看護Ⅰ 1単位 30時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	田村万寿美	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>老核家族化が進み、人生の先達としての尊敬や畏敬の念を抱きにくい社会環境にある学生が老年看護学を学ぶ第一歩として、演習やグループワークを通して老年期について幅広く理解することをねらいとした単元である。</p> <p>人生の最終ステージを自己実現に向けて生きている老年期の対象を理解するために、加齢変化により種々の機能が低下していく身体面や心理面の特徴と大きく変化していく社会的側面を理解する。また、後期高齢者人口の増加や家族形態の変化による社会情勢の変化と保健医療福祉制度の変遷と看護の役割について理解することが到達目標である。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1.オリエンテーション 2.夏季休暇：課題レポート発表会	講義	課題発表会
2回目	1.夏季休暇：課題レポート発表会		課題発表会
3回目	1.高齢者体験		演習
4回目	1.高齢者体験		演習
5回目	1.高齢者体験グループ発表会：テーマ「高齢者体験を通して」		グループワーク発表会
6回目	1.老いを学ぶ		講義
7回目	1.老いるということ ～ 身体的・精神的・社会的変化～		講義
8回目	1.高齢社会における保健医療福祉の動向：グループワーク テーマ「保健医療福祉制度の変遷」		グループワーク
9回目	1.高齢社会における保健医療福祉の動向：グループワーク		グループワーク
10回目	1.高齢社会における保健医療福祉の動向：グループワーク発表会		グループワーク発表会
11回目	1.高齢社会における保健医療福祉の動向：グループワーク発表会 2.補講講義		グループワーク発表会 講義
12回目	1.高齢社会と社会保障：高齢社会の統計的輪郭		講義
13回目	1.高齢社会における権利擁護		講義
14回目	1.老年看護の基盤		講義
15回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 80%・夏休み課題レポート及び発表会 10%・グループワーク 10%		
受講生に対するメッセージ	老年看護学Ⅰでは、演習・グループワークが総講義時間のおよそ半数を占めています。自ら考え、積極的に参加することで知識を定着できるよう取り組んでください。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 出版社：医学書院		
参考書	国民衛生の動向 2020/2021 出版社：厚生統計協会出版会		